

**インマヌエル中目黒キリスト教会**  
**2010年7月11日**  
**聖日礼拝**

**「働きに表れる信仰」**

**第一テサロニケ人への手紙1章1-3節**

**使徒の働き17章1-9節**

**竿代 照夫 牧師**



# 聖書朗読

## 新約聖書

- 1 テサロニケ人への手紙1章1-3節  
使徒の働き17章1-9節

# テサロニケ人への手紙第一 1章

1 パウロ、シルワノ、テモテから、  
父なる神および  
主イエス・キリストにある  
テサロニケ人の教会へ。  
恵みと平安があなたがたの上  
にありますように。

2 私たちは、  
いつもあなたがた  
すべてのために神に感謝し、  
祈りのときにあなたがたを覚え、

3 絶えず、  
私たちの父なる神の御前に、  
あなたがたの信仰の働き、  
愛の労苦、  
主イエス・キリストへの  
望みの忍耐を  
思い起こしています。

# 使徒の働き17章

1 彼らは

アムピポリスとアポロニヤを

通って、

テサロニケへ行った。

そこには、

ユダヤ人の会堂があった。

2 パウロはいつもしているように、  
会堂には行って行って、  
三つの安息日にわたり、  
聖書に基づいて彼らと論じた。

3 そして、  
キリストは苦しみを受け、  
死者の中から  
よみがえらなければならない  
ことを説明し、また論証して、  
「私があなたがたに伝えている  
このイエスこそ、  
キリストなのです。」と言った。

4 彼らのうちの幾人かは  
よくわかって、  
パウロとシラスに従った。  
またほかに、  
神を敬うギリシヤ人が  
大ぜいおり、  
貴婦人たちも少なくなかった。



5 ところが、  
ねたみにかられたユダヤ人は、  
町のならず者をかり集め、  
暴動を起こして町を騒がせ、  
またヤソンの家を襲い、  
ふたりを人々の前に  
引き出そうとして捜した。

6 しかし、見つからないので、  
ヤソンと兄弟たちの幾人かを、  
町の役人たちのところへ  
ひっぱって行き、  
大声でこう言った。

「世界中を騒がせて来た者たちが、  
ここにもはいり込んでいます。

7 それをヤソ<sup>ン</sup>が家に  
迎え入れたのです。  
彼らはみな、  
イエスという別の王がいると  
言って、  
カイザルの詔勅にそむく行ない  
をしているのです。」

8 こうして、  
それを聞いた群衆と  
町の役人たちとを  
不安に陥れた。

9 彼らは、  
ヤソンとそのほかの者たちから  
保証金を取ったうえで釈放した。

# 説教

第一テサロニケ 連講①

## 「働きに表れる信仰」

1テサロニケ 1章1-3節

使徒の働き17章1-9節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

私たちは、  
いつもあなたがたすべてのために  
神に感謝し、  
祈りのときにあなたがたを覚え、  
絶えず、私たちの父なる神の御前に、  
あなたがたの信仰の働き、  
愛の労苦、  
主イエス・キリストへの望みの忍耐を  
思い起こしています。」

**(1 テサロニケ1:2-3)**

# 1. 第一テサロニケ書について

## A. その概要

### 1. 著者：

パウロ（とシラスとテモテ）

### 2. 宛先：

(マケドニア州)

テサロニケにある教会

### 3. 執筆事情：

- **50**年頃、パウロはその第二次伝道旅行において、テサロニケ教会を開拓
  - 直後の迫害でパウロはテサロニケを離れる
  - その後派遣したテモテからの報告に基づき手紙を書いた
- (3:2)**



## 4. 内容：

- ・福音を素直に受け取った  
テサロニケ教会への感謝
- ・教会の道徳的・社会的・教理的  
課題の是正

## 5. 鍵の言葉：

「あなたがたは、  
マケドニヤとアカヤとの  
すべての信者の模範になったの  
です。」

**(1:7)**

## B. アウトライン

### ■挨拶1:1

# ■テサロニケ教会に関する感謝と 祈り1:2-3:13

感謝1:2-3

模範的教会1:4-7

教会の評判1:8-10

パウロの伝道態度2:1-12

テサロニケ人の受容2:13-16

教会への愛と関心2:17-20

テモテの派遣と彼の報告3:1-10

テサロニケ教会への祈り3:11-13

# ■テサロニケ教会に対する勧告

## 4:1-5:24

性的純潔**4:1-8**

責任ある社会行動**4:9-12**

死者と再臨との関係**4:13-18**

再臨の時期**5:1-11**

教会の勤め**5:12-15**

個人の信仰生活**5:16-22**

聖化のための祈り**5:23-24**

■挨拶と祝祷**5:25-28**

## C. パウロの生涯と手紙

<u>年代(AD)</u>	<u>主な出来事</u>	<u>手紙</u>
30	十字架と復活	
32頃	サウロ、	教会を迫害
34頃	回心	
36 / 37	エルサレム訪問	
46 - 48	第一次伝道旅行	
48	エルサレム会議	ガラテヤ
50 - 52	第二次伝道旅行	1,2テサロニケ
52 - 56	第三次伝道旅行	両コリント、 ローマ
56 - 58	カイザリヤで幽囚	
59 - 61	ローマで幽囚	ピレ、コロ、 エペ、ピリ
62頃	自由な伝道活動	1テモテ、 テトス
66 - 67	ローマで幽囚・殉教	2テモテ

## D. 地図(別紙参照)

地図 24

ローマ

イタリア

マケドニア

テサロニケ

ピリピ

バレヤ

トロアス

アカヤ

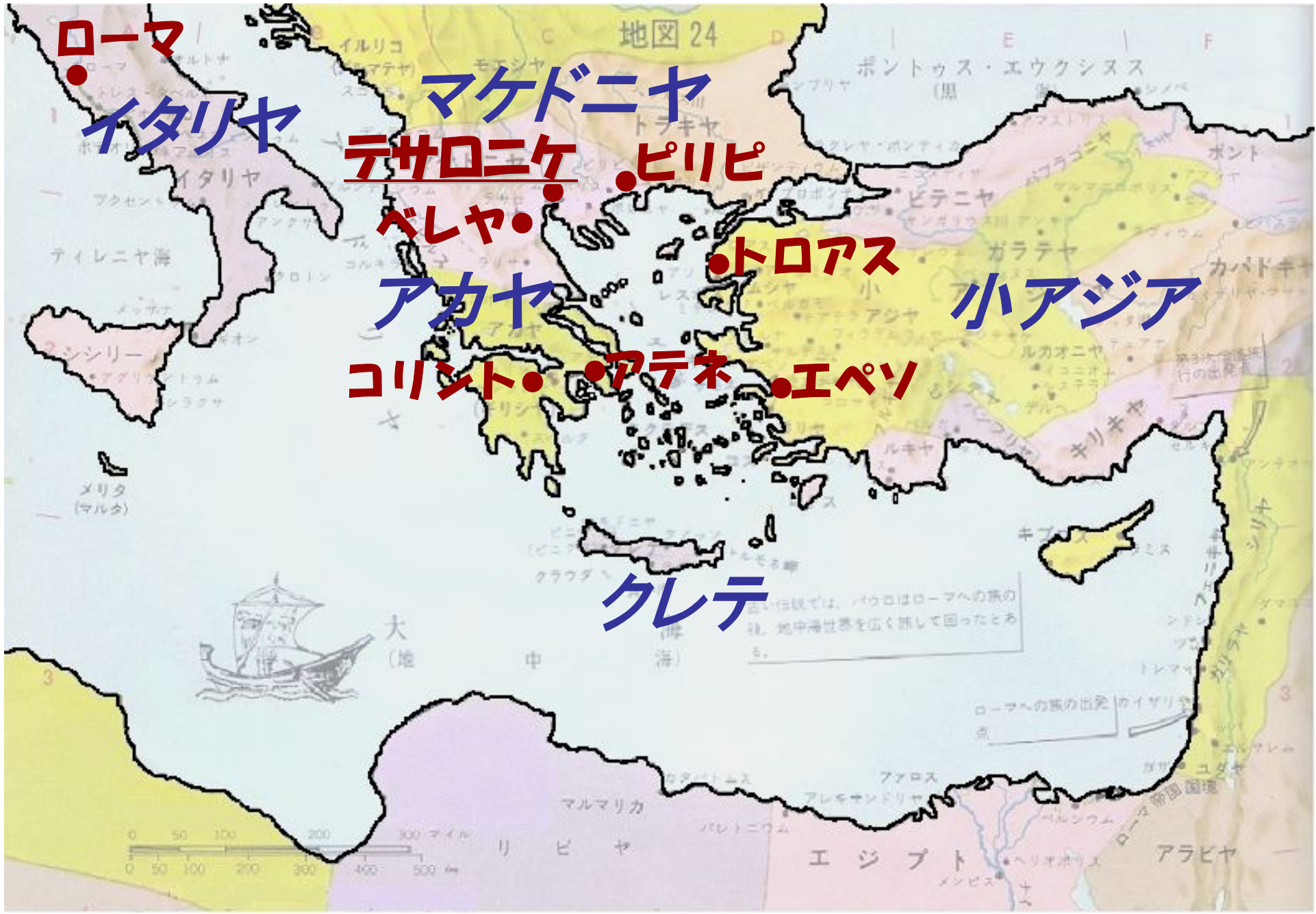
小アジア

コリント

アテネ

エペソ

クレテ





## Ⅱ. テサロニケという町について

### 誕生

- **BC4世紀**、  
マケドニヤ王カッサンドラが  
新町を建設
- その妻テッサロニキ  
(アレクサンドロス大王の妹)に  
因んで命名  
マケドニヤ州都に

- **168BC**にローマが占領、マケドニヤ州の州都に
- **42BC**にローマ内戦の功績で自由都市
- 諸民族を集める国際商業都市
- ユダヤ人も多く在住

### 3. 現代のテッサロニキ： ギリシャの第二の都市

(写真参照)



現在のテッサロニキ

## Ⅲ. 教会の誕生（使徒17章）

1. ピリピからテサロニケへ  
(1節 a)

2. 会堂での論証（1節 b－3節）

### 3. テサロニケ人の受容(4節)

- 幾人かのユダヤ人  
(ヤソンを含む)
- 「神を敬うギリシヤ人」
- 貴婦人たち
- その後に信じた多くの  
ギリシヤ人

4. ユダヤ人の迫害（**5—9節**）
5. パウロの避難とテモテの派遣  
(**10節、3:1—3**)

# IV. 第一テサロニケ書の書き出し (1:1-3)

## 1. 挨拶と祝祷(1節)

- 共同差出人：  
パウロ、シラス、テモテ
- 宛先：テサロニケ人の教会
- 「恵と平安」の祈り



## 2. テサロニケ教会のゆえの感謝 (2-3節)

- ・ 感謝をもって覚えられる教会
- ・ 「信・望・愛」の表れが  
「働き・労苦・忍耐」
- ・ 「良い働き」となって表れる  
信仰(ローマ3:31)

- 「良い働き」となって表れる  
信仰(ローマ3:31)
- 迫害に耐える根深い信仰
- 信仰経験の明確さ

おわりに：

私たちの信仰を吟味しよう